

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 市民-17 <input type="checkbox"/> 支援部門		海水浴場運営事業				
主管課	観光課	関連課					
分野名	観光						
目標 (目標値)	観光振興に関する観光客及び市民の満足度を高める。平成22年度までに観光客80%、市民90%が目標数値。入込観光客数を現状値(17年の1840万人)以上とする。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	海水浴客数	949,600人	784,700人	1,134,400人			
運営資源状況	決算値(千円)	46,737	44,017	45,119			
	(国・県)						
	(負担金等)	600	600	1,268			
	(一般財源)	46,137	43,417	43,851			
	人員配置数	0.75人	0.75人	0.75			
	人件費(千円)	7,235	7,324	7,295			
	協働のパートナー	海水浴場連絡会	海水浴場連絡会	海水浴場連絡会			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	53,972	51,341	52,414			
	市民1人当りの経費(円)	305	291	297			
	対象者1人当りの経費(円)	57	65	46			
	ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	藤沢	逗子	葉山	三浦	鎌倉
	海水浴客数	4,284,230	709,500	187,000	674,000	949,600	
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
海水浴客数	○	目標値	95.8万人	95.8万人	95.8万人	95.8万人	95.8万人
		実績値	78.5万人	95.0万人			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
海水浴場運営事業	46,737千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープの整備。なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保に努めた。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	海の家の営業時間について、隣接市との差異があるため、引き続き検討が必要。			
課題解決のための取組	22年度から、音の出るイベントについては午後8時までと時間短縮する海水浴場連絡会の脾腫規制の見直しが実施された。			
未解決の課題	海の家の営業時間について、特に腰越海水浴場が藤沢市の片瀬東浜海水浴場と同じ海岸でありながら営業時間が違うことから、藤沢市から営業時間短縮についての要望を受けている。			
今後の方針	引き続き海水浴場連絡会に営業時間の見直しを要請するとともに、神奈川県に対しても県内統一のルールの検討について要望を行う。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ B	※ □事業完了	課長名 観光課 服部 計利

